

## 2023 フクシマ連帯キャラバン報告書

全港湾名古屋支部

赤木敬

名古屋支部青年部長の赤木です。私は今回で4年ぶり、2回目のフクシマ連帯キャラバンの参加となりました。2019年に参加した時は8日間の日程でしたが、今回は5日間の日程になったということもあり、短い期間でとても内容の詰まった行動となりました。

特に印象に残っているのは、2日目の意見交換会です。津島原告団の方々から聞いた震災当時の状況、そして避難生活は酷い様子で12年経った今も故郷は失われたままだと語られました。被災者本人たちからの言葉は一つひとつが重く、震災と原発事故を身近に感じ、二度と同じことを繰り返してはいけないことを再認識しました。この会のおかげで続くフィールドワーク、街宣活動、要請行動といった活動にもより一層力を入れることができ、自分の身になったように感じます。

東北青年部が作り上げた今回のキャラバンに参加し間近で見ることができたことで、「自分たちの地元でもこういう活動がしたい」「自分たちには何ができるのか」と考えるようになり、いいきっかけと刺激を貰うことができました。キャラバンの中では久しぶりに会う人、初めて会う人、たくさんの仲間との出会いがありました。そのどれもが最高の経験であり、思い出となっています。またチャンスがあれば参加させて頂きたいと思いますし、まだ参加出来ていない地元の仲間たちにも今回の経験を伝えていきたいと思います。

今回のギャバンを企画、運営してくださった東北青年部と関係者の皆様、5日間ともに行動してくれた全国の仲間たちには本当に感謝しています。ありがとうございました。